

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	当該学年で習得すべき漢字の読み書きができる。(自校テストで8割以上にする。) 基本的な四則演算の計算ができる。(自校テストで8割以上にする。)	⇒ 授業等で1人1台端末を活用し、児童の知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査【生活習慣等に関する調査】における「教育の情報化推進事業」の肯定的な回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 学年会や教材研究の時間を確保し、授業に関わる協議を日常化・活発化させることで、実態と課題に合った指導の方策を構想する。思考の視点やグループ協議の役割などを明確にして、授業に取り入れる。
主体的に学習に取り組む態度	「よい授業」の因子④(児童生徒の活動)の肯定的な回答を前年度を維持もしくは向上させる。	⇒ 昨年度までの研究成果「安心感のある学級集団づくり」を共有・継続する。研修の時間や授業公開、授業に関する協議会を設け、授業改善を促進させる。

次年度に向けて  
(3月)

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

①結果分析(管理職・学年主任等)  
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能		⇒
思考・判断・表現		⇒
主体的に学習に取り組む態度		⇒

中間評価(9月)  
目標・策の見直し